

## 『ディズニーランドという聖地』の要約例

### 第6章 フロリダ・東京・パリ - ディズニーランドの世界戦略

#### (1) フロリダのディズニーワールド

南カリフォルニアのディズニーランドへの不満 周辺の土地利用に関する権限を持たない  
フロリダへ第二の王国 広さ 3300 万坪 山手線の内側の 1.5 倍

1971 年 10 月 1 日開園

「マジックキングダム」(ロスと同様のもの) 面積 1.4 倍、投資額 3 倍以上

「エプコットセンター」 未来都市 科学博覧会

「ディズニー-MGMスタジオ」 映画撮影所とハリウッド名所の再現

「タイフーン・ラグーン」(人工の大波) 「リバー・カントリー」(アスレチック)

- ・遊び心からの逸脱 「大統領の殿堂」「リバティ・スクエア」 愛国主義
- ・電力、ガス、上下水道、消防、建築基準、道路建設を独自に運営(警察、司法は別)

#### (2) 東京ディズニーランド

1983 年 4 月 15 日開園

オリエンタルランド(京成電鉄、三井不動産が出資)が誘致

なぜヒットしたか 日本の文化的状況と 1955 年のアメリカの状況が似ていたため

- ・若者の好み市場を動かす
- ・中産階級が台頭
- ・価値観の多様化

文化的脅威ではなく、「すばらしい買い物」 精神性をともなわない巨大な娯楽消費空間

#### (3) パリのディズニーランド

1992 年開園

フランス人の賛否両論

「シンデレラや白雪姫の原作はディズニー」 「フランス人の個人主義に合わない」

フランス政府は歓迎 優遇措置(企業誘致、雇用拡大が期待できるため)

(注) レジュメ(レジメとも)とはフランス語で要約、概略のこと。